

# 第1回幼・保・小合同研修会

と き 平成28年5月31日(火) 午後3時～午後4時40分

ところ 郡山市総合福祉センター5階集会室

講演・演習 「幼児期の表現を豊かにするために～楽しい絵本の世界から～」

講 師 練馬区平和台児童館 職員 中村 公美 先生

講師は、長年「こどもの城」において子どもの遊びについて実践してこられ、また全国各地でワークショップを数多く経験されていることから、明るく元気な雰囲気での講演開始とともに出席者はその世界に引き込まれていた。

- ① お話カードを使ったウォーミングアップ…グループでお話づくり。それぞれ奇想天外なお話が出来上がって、発表のたびに大笑い。言葉を使う面白さを体験した。
- ② 絵本とごっこ遊び…絵本「はらぺこあおむし」を題材に、新聞紙を使いグループで相談しながら食べ物を作った。ぶどうやバナナ、ラーメンや焼きそばを作るグループもあり創造力に一層磨きをかけたようだ。その後靴下で作った「あおむし」を使ってみんなでもぐもぐ(びりびり)。年齢に応じた活動の広げ方を学んだ。
- ③ カード絵本づくり…一人ずつ見開きカードの絵本を作った。表紙に開いた穴から見える一つの色。ページを開くと、その色のりんごやバナナ・ピーマンなどが出てくるシンプルな自分だけの仕掛け絵本作り。簡単だけれど表現の楽しさが味わえる教材について学んだ。
- ④ 子どもの「表現」の場で、我々は誘導していないか。…「こうしたら?」「こっちがいいんじゃない」によってその子の表現ではなくなる。「選ぶ」「考える」機会を作ることを大切にしたいと思っている。という話から、子ども一人ひとりの表現する力を育むための大人の役割について考えた。

絵本のページをめくるようなワクワクした楽しさを味わえる実技内容で、現場で生かせるという声が多かった。それとともに、子どもの表現する力を豊かに育むための援助のあり方についても知ることができた。



講演・グループワーク



グループワークでお話作り



カード絵本づくり「ぶどうの紫が窓から見えるように」



「はらぺこあおむし」の読み聞かせ



靴下が「あおむし」になった身近な材料を生かした活動



「私のアイディアはのり巻きの黒」